



本校では、図書委員会の活動として読書の秋にちなんで「読書祭り」を行っています。今年も図書・視聴覚室・音楽室・教室の四会場で多くの東っ子が素敵な本と出会いました。この日に向け、練習を積み重ねてきた図書委員会の子どもたちが、集った仲間の前で読み聞かせを行いました。豊かな心を育む活動を今後も大切に行いたいと思います。
(旭川市立神居東小学校)

No. 128 (平成 30 年 3 月 1 日)

おもな内容

	ページ
随想	1
研修講座寸描	2 - 5
出前講座寸描	5 - 6
平成30年度開催予定講座	7
研究の成果と課題、研究協力校の 実践	8 - 10
当研修センターの貸室案内	10

随想

脚本と俳優



上川教育研修センター

副所長 佐藤

保

NHKの朝の連続ドラマと日曜夜の大河ドラマが好きで、欠かさず観続けています。

長く観ていて「今回は脚本が面白いなあ」とか「出演者がいいなあ」といった感想をもつことがあります。

やはり、ドラマの良し悪しは、脚本の出来と俳優の演技力で決まるようです。なにを当たり前のことをと言われそうですが、これを次のように「授業」に置き換えてみます。

脚本の出来 ↓ よい指導案

俳優の演技力 ↓ 教師の指導力

こうしてみると授業においても二つの要素が両立してはじめてよい授業が成り立つように思います。

指導案には、本時の目標と問題（課題）、学習内容や評価などが記されています。子どもの思考や動きをシミュレーションしながら授業の流れを構想しているところはドラマの脚本そのものです。

そして、実際の授業では、子どもの反応を拾い上げ、問い返し、考えや理解が深まるように授業を実際に展開していく教師の実践的な指導力が求められます。どんなに素晴らしい脚本でも、演技力

のない役者が演じれば人の心を打つドラマにはなりません。一方、いかに名優を揃えても、脚本がつまらなければ記憶に長く残ることはありません。

経験の浅い教師が定評のある指導案で授業をしてみても、発問のタイミングを間違えたり、子どもの発言を生かせなかったりすることがよく起きます。

また、経験を積んだ教師の中には、話術や巧みな展開で子どもを引き付けながらも「結局こういうことだ」と教師が説明してしまい、子どもの考えや理解を深められないことが稀に見受けられます。

文科省視学官の澤井陽介氏は、授業において教師に求められる力としてデザイン力（授業を設計する力）とマネジメンツ力（指導案を実際の授業で実現する力量）の二つを挙げています。

私の拙い説明では十分意が通じなかったかもしれませんが、デザイン力とマネジメンツ力とはドラマにおける脚本と俳優の関係と同じで、2つの力が揃ってこそよい授業になりえるように思います。

ただし、脚本と俳優は分業されていますが、教師は一人二役。自作自演せねばならないのが難儀なところです。

センター日誌



麓郷老人クラブの皆さんを学校にお招きし、毎年恒例の「ふれあいまつり」を開催しました。子どもたちが色々なアイデアを出し合って作ったゲームを一緒にしたり（写真）、中学生を交えた育館で「百人一首」をしたり、楽しい時間を過ごすことができました。（富良野市立麓郷小学校）

11月6日	研修事業拡大会議
12月12日	冬季拡大研究会
12月20日	センター運営協議会
1月5日	冬季合同所員研修会
12月25日	1月9日
1月17日	研究室冬季集中研
2月5日	センター組合教育委員会会議
2月6日	センター組合議会定例会
3月1日	センター研究発表会
3月31日	センターだより第128号発行
4月1日	平成29年度研究紀要第43号発行（予定）
	平成30年度研修講座開催要項発行（予定）

研修講座寸描

講座の様子から

「深い学び」へと導く「ジグソー学習」が大変勉強になりました。講座を受ける前は、「深い学び」のイメージがつかめずいましたが、講座を通して、はつきりイメージすることができました。ありがとうございます。

(和寒町立和寒中学校 小林 智)



10 国語科指導 7 / 27・9 / 5

講師

上田 祐二 (北海道教育大学 旭川校 教授)
長井 妙子 (広陵中 教諭)
高橋 孝明 (春光小 教諭)
北 真紀 (東光中 教諭)



15 生徒指導 8 / 1・9 / 6

講師

飛弾野文彦 (光陽中 教頭)
山崎 純 (共栄小 教諭)
河村 知泰 (広陵中 主幹教諭)

自己指導能力の育成や生徒指導の機能についての講義、公開授業など、充実した研修でした。特に、年度初めの学級のルール決めについてのポイントを分かりやすく教えていただき、今後の生徒指導に活かしていこうと思いました。御指導していただいた講師の方や研修センターの方々に感謝申し上げます。

(旭川市立六合中学校 堰合 裕太)

25 体育科実技 9 / 6

講師

小出 高義 (北海道教育大学 旭川校 准教授)
鈴木 和彦 (向陵小 教諭)



前半は「チェックボール」を題材にした研究授業で、作戦を立てながら生き生きと活動する児童の姿を参観しました。後半は、実際に「チェックボール」を体験し、気持ちよく汗を流しました。楽しく生き生きと運動する素晴らしさを改めて感じる研修となりました。

(旭川市立忠和小学校 山田 宏紀)

26 音楽科実技 9 / 7

講師

杉江 光 (北海道教育大学 旭川校 教授)
南山 夕子 (緑新小 教頭)
吉岡 音井 (永山小 教諭)

曲想の変化を感じとる鑑賞の授業について、どの学年にも効果的な手法を学ばせていただきました。特に、鑑賞用のキーワードを提示する「音楽の玉手箱」は、すぐに実践したいと思います。貴重な授業と講義をありがとうございました。

(旭川市立千代田小学校 三浦 舞)



27 校内研修 9 / 20

長嶋 義和 (旭川第3小 教頭)
加藤 佳代 (旭川第3小 教諭)
村上 俊征 (旭川第3小 教諭)

講師



実践的指導力の向上を図る校内研修の在り方について学ぶことができ、大変有意義な時間となりました。これまでの実践に基づく貴重な資料で丁寧な御指導いただき、ありがとうございます。今後の校内研修の推進に役立てていきます。

(美深町立美深小学校 櫻庭 逸人)

28 図工・美術科実技 10 / 4



中学生が抽象彫刻に取り組む授業ということで、ハードルが高かったが、段階を踏んでいてとても分かりやすく、生徒たちも楽しんでいるのが伝わりました。有意義な講座、ありがとうございました。

(美深町立美深中学校 前鼻 陽子)

講師

岩永 啓司 (北海道教育大学 旭川校 准教授)
藤山 春乃 (啓北中 教諭)

中学生が抽象彫刻に取り組む授業というので、ハードルが高かったが、段階を踏んでいてとても分かりやすく、生徒たちも楽しんでいるのが伝わりました。有意義な講座、ありがとうございました。

29 学校・家庭・地域の連携 10 / 5

石田 貴宏 (北海道教育庁学校教育局義務教育課子ども地域支援グループ 主査)
藤田 泰昭 (士別市教育委員会社会教育課兼学校教育課 主幹)
尾中 康裕 (北海道教育庁上川教育局教育支援課社会教育指導班 主査)

講師



これから下りてくる取組、と思っていたら、すでに地方では地域性に合わせてシフトされていました。旭川は釧路で進められているモデル事業に習うのかな、ということ等、行政・教員がそれぞれの立場で話し合え、有意義な研修でした。

(旭川市立末広小学校 安村 春代)

18 社会科指導 8 / 3・10 / 6



(旭川市立近文第1小学校 本田 達也)

講師

金 玟辰 (北海道教育大学 旭川校 准教授)
吉田 明弘 (比布町中央小 教頭)
常本 和幸 (知新小 教諭)
柴田 雄一 (神居中 教諭)

社会見学や調べ学習から分かったこと、理解したことを概念化するための言語活動を実践した授業を二つ参観しました。社会科で大切な深い学びのためにどのような言語化を行えばよいか分かり、大変有意義な講座でした。

20 生活科・総合的な学習の時間 8 / 4・10 / 12

井本 学 (旭川第2中 教諭)
大西 陵公 (新富小 教諭)
漆戸 七生 (末広北小 教諭)
澤田 匡史 (永山西小 教頭)

講師Ⅱ

(富良野市立樹海小学校 大和百合子)
探究的な授業づくりについて学び、その実践を資料や実際の授業を通して分かりやすく御指導いただきました。また、収集した情報を整理・分析するための思考ツールについても学ぶことができました。大変有意義な研修となりました。



な研修になりました。

(鷹栖町立北野小学校 田村 典子)

30 保健安全指導 10 / 12

講師Ⅱ

浅野 智子 (西御料地小 教頭)
遠入 真弓 (緑新小 教諭)

研究授業では、児童が互いを大切にし、学級を良い「仲間」にする方策を真剣に考えていた姿が印象に残りました。講義、演習でも、今後の子どもの支援に役立つ資料を提示していただき、有意義な研修になりました。

3 学級経営 5 / 11・10 / 13

柳澤 麻弥 (愛宕中 教諭)
宇野 弘恵 (啓明小 教諭)
中村 正樹 (愛宕東小 教諭)
中筋 一之 (神居東中 教頭)

講師Ⅱ



授業を参観する前に、授業参観の視点に参加者で明確にしたことで、ポイントを意識できました。小学校、中学校のどちらも担任の先生の日々の学級経営の成果がよく分かり、勉強になりました。学んだことを実践しようと思う研修でした。

(幌加内町立朱鞠内小学校 鈴木 文也)



だけでなく、異国についても関心をもたせていくことが大切だと学びました。ありがとうございました。

(旭川市立大有小学校 大谷 栞)

31 国際理解教育 10 / 13

講師Ⅱ

澤渡 千修 (当麻小 教諭)
関田 恒星 (旭川小 教諭)
太田 貴幸 (新町小 教諭)
北村 聡 (新町小 教諭)

国際理解教育の現状や授業の中でどのように取り入れていくべきかなど、講義や演習を通して、大変勉強になりました。自国の文化

32・33 ミニ道研A・B 8/4・8/10

北海道立教育研究所による遠隔研修
講師

初めて遠隔研修に参加させていただきました。学習指導要領の改訂にかかわる道徳教育や授業改善について、すぐに実践できる内容を多く学ぶことができました。また、遠方の参加者と交流できたことも、大変有意義でした。

(剣淵町立剣淵小学校 大家 大地)

道内三箇所をネット回線で結んでの研修で、各地域の特色ある小中連携の実践について交流できました。生徒指導の講座では、児童の心に寄り添うことの大切さ、外国語活動の講座では、今後の動向や課題について学ぶことができました。

(旭川市立北光小学校 寺田 伸子)

35 絵に親しもう 1/9

講師

森 清行(神楽中 教諭)



「三原色で遊ぶ」と題し、赤、黄、青色を使い、小作品を制作しました。三原色の表現の多様さを、活動を通して感じました。また、色作りが楽しいな、形がおもしろいな、という図工・美術科本来の教科の魅力を再認識することができました。

(富良野市立富良野小学校 青山 貴)

34 書に親しもう 1/9

講師

鈴木 昌子(新町小 校長)



言葉のイメージが相手に伝わるように画仙紙の大きさ、墨の濃淡、運筆などを考え、制作活動にじっくりと取り組みました。言葉を書くところに書の価値はあることを実感できる研修になりました。温かい御指導ありがとうございました。

(幌加内町立幌加内小学校 林 早苗)

愛宕東小学校「道徳教育」 9/20



【講師】小酒井晃子(近文第一小 教諭)

道徳教育の要点を、短時間で分かりやすく教えていただきました。授業づくりの具体的なイメージをもつことができ、意欲が高まりました。質問にも、快く丁寧に答えてくださり、ありがとうございました。

(旭川市立愛宕東小学校 幸谷 奈緒)

上川地区社会科教育連盟「ICT活用」 8/4



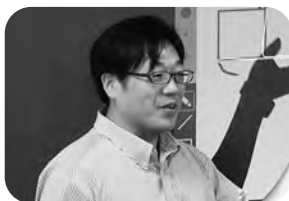
【講師】伊藤健治(西神楽中 教諭)

学校で整備が進められている中、なかなかフル活用されていないと感じていたタブレット。今回の講座では、教師・生徒両方の視点から有効な活用方法を教えていただきました。授業で、校務で、早速生かしていきます。ありがとうございました。

(当麻町立当麻小学校 松浦 達也)

出前講座寸描

南富良野中学校「パソコン実技」 9/27



【講師】石本周司(末広北小 教諭)

講話の中で、タブレットを活用した一斉学習・個別学習・協働学習の実践例を示していただき、授業で活用していく参考になりました。また、画像の事前確認の必要性などを理解することができました。御指導ありがとうございました。

(南富良野町立南富良野中学校 倉本 俊典)

和寒小学校「小学校外国語活動」 9/21



【講師】会田有紀(永山南小 教諭)

講話の中でALTと担任との役割分担を授業実践を交えながら示していただきました。現在、我が校が抱えるALTとの打ち合わせについての様々な問題についても触れていただき、今後の参考となるお話を聞くことができました。

(和寒町立和寒小学校 吉田 恵)

幌加内小学校「小学校外国語活動」 10/24



【講師：井澤 広美（北光小 教諭）】
井澤先生の「担任が英語を使う姿勢が子どもに伝わる」という言葉が特に心に残り、大変勉強になりました。学んだことを基に、コミュニケーションの楽しさを体験させる授業作りに取り組んでいきます。御指導ありがとうございます。

（幌加内町立幌加内小学校 菅井 莉奈）

上教研北部地区研究会情報教育班「ICT活用」 10/5



【講師：橋本 崇（中央中 教諭）】
講話の中で、ICT活用のメリットやタブレットの活用の仕方を示していただきました。タブレットを手に取り、実際に操作することで、授業での活用場面を具体的にイメージすることができました。御指導ありがとうございました。

（剣淵町立剣淵小学校 向井 裕人）

名寄市生徒指導連絡協議会「生徒理解」 11/7



【講師：目黒克彦（西神案中 教頭）】
今回の出前講座では、生徒指導の三機能について改めて学ぶことができました。また、講話の中で、具体的な実践例も示していただき、自身の実践を振り返る良い機会となりました。今回学んだことを明日からの実践に役立てていこうと思います。御指導ありがとうございます。

（名寄市立名寄東中学校 一條 勇太）

緑が丘小学校「パソコン実技」 10/27



【講師：伊藤健治（西神案中 教諭）】
ICT機器は「準備が大変・難しい」というイメージがありました。が、普段の授業で手軽にできる活用方法をたくさん教えていただきました。自分でプレゼンを作り、便利さや楽しさも改めて実感できました。御指導ありがとうございます。

（旭川市立緑が丘小学校 大橋 祥子）

陵雲小学校「ICT活用」 1/16



【講師：佐々木玲（北光小 教諭）】
「なぜICTの活用が求められているのか。どのように活用していけばよいのか。」を講話とともに実技指導をしていただきました。今回の研修を生かし、ICTを効果的に活用して、授業実践に励んでいきます。丁寧な御指導ありがとうございます。

（旭川市立陵雲小学校 樋口 奨）

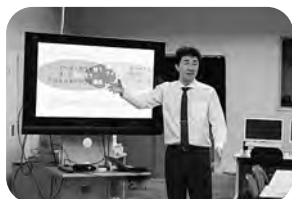
大町小学校「特別支援教育」 1/16



【講師：橋詰郁朗（旭川盲学校 教諭）】
「読めない、書けない」原因がどこにあるのかを探る方法や視点を分かちやすく教えていただきました。通常学級の中でも子どもたちの困り感に「もしかしたら〜かもしれない」という目で見守ることで寄り添ってあげられたらと思います。

（旭川市立大町小学校 杉本 寛子）

東町小学校「タブレット活用法」 1/26



【講師：佐々木玲（北光小 教諭）】
タブレットPCの基本操作から授業での活用の仕方についてまで学ばせていただきました。普段の授業では、画像や動画を見せることが中心でしたが、協働学習のツールの一つとして、今後、授業に取り入れていきたいと思いました。

（旭川市立東町小学校 藤崎 勝）

大町小学校「ICT活用」 1/25



【講師：伊藤健治（西神案中 教諭）】
講話では、次期学習指導要領で求められるICTを活用した授業について具体的なイメージをもつことができました。また実技では、授業や校務での効率的なパソコンの活用方法を学ぶことができました。御指導ありがとうございます。

（旭川市立大町小学校 櫻井 基）

平成 30 年度 上川教育研修センター開催予定講座

番号	講座名	期日	研修内容の概要（平成30年度のテーマ）	授業
1	特別支援教育	① 5 / 9 ② 6 / 8	「児童生徒の障がいの特性に応じた自立活動の指導の在り方」(②で授業研究)	小・中
2	特別活動	① 5 / 10 ② 10 / 12	「児童生徒のよさや可能性を伸ばし、自己有用感を高める指導の在り方」(②で授業研究)	小・中
3	読書活動	5 / 15	「読書活動を推進するための組織的な取組」 ～学校図書館利活用の諸課題（読書・調べ学習・情報）～（授業研究あり）	小
4	学校経営Ⅰ	6 / 6	「新しい時代を創造する学校経営の在り方」	
5	学校経営Ⅱ	6 / 7	「スクールリーダーとしての教頭の在り方」	
6	書写実技	6 / 12	「児童生徒の主体的な学習を喚起する指導と評価」（授業研究あり）	中
7	図工・美術科指導（実技）	7 / 4	「基礎的な能力を伸ばし、豊かな情操を養う学習指導」 ～児童生徒の学習意欲を高める授業づくり～（授業研究あり）	小
8	複式教育	7 / 13	「主体的・創造的に学び、豊かな心でたくましく生きる力を育む複式教育」 ～学び合いにより「確かな学力」を育てる指導～（授業研究あり）	小
9	国語科指導	① 7 / 26 ② 9 / 4	「言葉による見方・考え方を働かせ、適切に表現する力を育てる国語科指導」 ～「話すこと」・「聞くこと」における指導～（②で授業研究）	小・中
10	算数・数学科指導	① 7 / 27 ② 8 / 30	「根拠を明らかにし、筋道を立てて体系的に考え表現する授業の在り方」(②で授業研究)	小・中
11	生活科・総合的な学習の時間	① 7 / 27 ② 9 / 4	「『生活科』及び『総合的な学習の時間』の充実を求めて」 ～探究的な学習態度を育てる指導の充実～（②で授業研究）	小・中
12	いじめ・不登校	7 / 30	「『いじめ・不登校』の予防と対策の在り方」	
13	幼小連携教育	7 / 30	「小学校への滑らかな接続を目指す幼小連携教育の在り方」 ～今日的な課題への対応（小1プロブレム・特別支援教育）～	
14	道徳教育	① 7 / 31 ② 8 / 28	「児童生徒の道徳性を高める道徳教育の在り方」 ～道徳科の授業展開と評価について～（②で授業研究）	小・中
15	理科指導	① 8 / 1 ② 8 / 28	「『エネルギー』・『粒子』を柱とした内容の科学的な見方や考え方の育成」（②で授業研究）	小・中
16	生徒指導	① 8 / 1 ② 9 / 5	「日々の教育活動における生徒指導の機能を生かした指導の在り方」（②で授業研究）	小・中
17	社会科指導	① 8 / 2 ② 10 / 5	「社会的事象に関する基礎的・基本的な内容を身に付けさせる指導の工夫」 ～問題解決的な学習～（②で授業研究）	小・中
18	外国語（英語）指導	① 8 / 3 ② 9 / 3	「コミュニケーションを図る資質・能力を育てる外国語（英語）指導の在り方」 ～小中連携を意識した指導と評価～（②で授業研究）	小・中
19	学校力向上対策	8 / 3	「今日の教育課題の解決を図る学校力向上対策」 ～学校運営の改善・強化を図る学校マネジメント～	
20	学校事務実務	8 / 6	「学校事務における今日的課題」 ～教育予算における現状と今後の課題～	
21	教育講演会	8 / 8	講師 諸富 祥彦 氏（明治大学文学部教授） 演題 「主体的で対話的な道徳授業づくり」 ※詳細は4月配布の開催要項を御覧ください	
22	技術・家庭科指導（実技）	8 / 22	「生活を工夫しようとする態度を育てる指導の在り方」 ～衣食住の生活～（授業研究あり）	小
23	I C T活用	8 / 23	「I C Tを効果的に活用した学習指導の在り方」 ～校内I C T機器の活用～（授業研究あり）	中
24	保健安全指導	8 / 29	「学校におけるアレルギーに関する指導の在り方」（授業研究あり）	中
25	体育科指導（実技）	8 / 31	「体づくり運動、球技」（授業研究あり）	中
26	音楽科指導（実技）	9 / 6	「歌唱の表現の工夫及び指導方法の工夫」（授業研究あり）	中
27	校内研修	10 / 3	「協働的な校内研修体制の構築」（授業研究あり）	小
28	学校・家庭・地域の連携	10 / 4	「子どもたちの生きる力を育むための学校・家庭・地域の連携」 ～地域・学校が協働して子どもを育む実践（コミュニティ・スクール活用事例）～	
29	国際理解教育	10 / 12	「国際理解教育の実践の工夫」 ～総合的な学習の時間における指導～（授業研究あり）	中
30	ミニ道研A	8 / 10	北海道立教育研究所によるワークショップ型遠隔研修 「カリキュラム・マネジメント」「主体的・対話的で深い学び」※詳細は4月配布の開催要項を御覧ください	
31	ミニ道研B	10 / 23	北海道立教育研究所による遠隔研修 「プログラミング教育」「食育」※詳細は4月配布の開催要項を御覧ください	
32	書に親しもう	1 / 9	「毛筆で心を伝える作品制作（小品）」 ～心に残る言葉を題材にした作品づくり～（午前 半日日程）	
33	絵に親しもう	1 / 9	「墨絵で心を伝える作品制作（小品）」（午後 半日日程）	
34	センター研究発表会	2 / 5	「深い学びを実現する学習指導の在り方」に関する第17次3か年計画の2年次の研究を発表 ～センター研究員の実践、研究協力校の実践～	
パソコン実技	A 校務のための表計算入門	5 / 23, 10 / 11	エクセルの基本的な使い方や表計算の概念について（初級者向け）	
	B 校務のための表計算活用	6 / 13, 11 / 13	I F関数やVLOOKUP関数など、実際の校務で使うであろうテクニックや応用（中級者向け）	
	C 校務のための表計算活用／個別課題解決	6 / 18, 11 / 9	日常の校務で使用しているデータの疑問や課題を解決（午後半日日程）	
	D 学校で役立つ動画編集・画像処理	9 / 6	動画編集や画像処理について。作成した動画や画像の各種公開について	
	E 学校で役立つタブレットPC入門(iPad)	6 / 8, 8 / 6, 12 / 26	iPadの基本的な使い方について	
F	授業で役立つタブレットPC活用(iPad)	6 / 14, 8 / 9, 1 / 9	iPadを授業で効果的・効率的に活用する方法について	
	G 校務で役立つタブレットPC活用(iPad)	8 / 10, 10 / 25, 1 / 10	iPadを校務で効果的・効率的に活用する方法について	

～正式な日程は、4月にお届けする「研修講座開催要項」で御確認ください。～

上川教育研修センターでは、理論研究と実践検証を行った結果、1年次は、次のような成果と課題を明らかにすることができた。

成 果

- ① 学習指導要領に基づく指導内容を分析し、目標・課題・まとめ・評価の整合を図った単元の指導計画を作成することにより、目標達成に結び付く学習指導案の基本型を提示することができた。
- ② 自己の学習を見直し振り返る主体的な学びと、思考を広げ確かな学びに向かう対話的な学びを重視した本時の授業展開モデルを提示することができた。
- ③ 研究内容を柱として、授業参観の視点と研究協議を連動させた参加者主体の運営を行うことにより、成果と課題を分かりやすく実感を伴って共有できた。

課 題

- ① 「深い学び」の姿を一層具体化するとともに、児童生徒が各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら学びに向かう、質の高い授業づくりを追究する必要がある。
- ② 学習指導要領の全面实施を見据え、資質・能力の三つの柱に基づき、「目標に準拠した評価」を実質化させながら授業研究を進める必要がある。

詳細は、3月発刊の研究紀要第43号を御覧ください。

研究室だより

今、研究室では

第一七次研究 一年次

研究主題「深い学びを実現する学習指導の在り方」

各教科における主体的・対話的な学びを通して

研究員の
実践

見通しをもち、対話を通して

自ら考えを深める言語活動の工夫

旭川市立北光小学校第五学年 国語科 授業者 望月 俊綱

一 単元の概要

人物の相互関係や情景描写など、物語の魅力をまとめたカードを作成し、紹介し合う言語活動を設定した。

魅力カードを分析して見通しをもたせる単元一時間目の授業と、情景描写を選び、その理由を交流し合う四時間目の授業を公開した。

二 本時の成果と課題

単元を通して問題を解決する言語活動を設定し、魅力カードを分析する活動により、単元全体の見通しをもつて取り組むことができた。

相手意識を明確にした交流が、互いの考えを広げたり深めたりすることにつながった。



研究員の
実践

小集団での学びを適切に設定し、
根拠を基に伝え合う活動の工夫

旭川市立永山中学校第二学年 数学科 授業者 遠藤 聡志

一 授業の概要

平方根の乗除の計算の仕方の意味を考え理解する学習を行った。

二 本時の成果と課題

見直しをもたせることで、生徒は前時との関わりを考えながら、既習事項を活用して課題解決に向かうことができるようになった。また、自分の考えについて根拠をもって説明させることに繰り返し取り組んだことにより、伝え合い学び合う姿勢を身に付けることができた。



協力校
の実践

～目的や場面を明確にし、やり取りの
意欲を高める言語活動の工夫～

東川町立東川小学校第五学年 外国語活動

～英語で質疑応答するための言葉に慣れ親しみ、
進んで様々な国の人とやり取りをする学習～

授業者 森 優也

一 本時の目標

本時の目標を「様々な国のの人に対して、What's this? や It's... の表現を使ってコミュニケーションを取ろうとする。」とした。児童がコミュニケーションを図ることの楽しさを感じたり、対話を続ける工夫に気付いたりできるように、言語活動の設定を工夫し、本時の目標に迫りたいと考えた。

二 「主体的な学び」「対話的な学び」に関わる教師の手立て

【学びの成果】

学びの成果を振り返らせるために四件法を用いるとともに、単元全体で「どのような力が身に付いたか」を記述させた。単元を通して何ができるようになったのかを児童に実感させることにより、学習した表現を日常の場面で使う意欲を高めることができた。

【思考の活性化】

これまでに学習した英単語では直接言い表せない漢字や言葉について、ゲストティーチャーに説明する活動を設定した。活動の途中で、知っている英単語やより伝わる方法を児童に共有させることにより、積極的に対話を続ける姿につながった。

三 本時の成果と課題

段階を追って、表現の難易度を高めることにより、児童の思考を活性化することができた。また、より伝わる方法の工夫を共有し、再度、活動を行うことで、確かな学びにつながった。グループで行う言語活動では、発話の機会に差が出ないように工夫する必要がある。

協力校
の実践

～学びを実感する振り返りシートの工夫～

旭川市立西御料地小学校第五学年 算数科

～数直線を用いて数量の関係を捉え、
割合についての理解を深める学習～

授業者 中村 泰広

一 本時の目標

本時の目標を「比較量と割合から基準量の求め方を、数直線や式、言葉を用いて考えることができる。」とした。数直線を用いて数量の関係を捉えたり、具体的に言葉にして説明したりする活動を通して、本時の目標に迫りたいと考えた。

二 「主体的な学び」「対話的な学び」に関わる教師の手立て

【学びの成果】

本時の学びの成果を実感させるために、割合についての理解度に関して四件法と記述で振り返る場面を設定した。「何が分かったのか、なぜ分かったのか、分からなかったことは何か」など、振り返りの視点を明確にすることにより、学びを実感させ、次時の学習への意欲をもたせることができた。

【思考の活性化】

本時の問題に対して予想される誤答を取り上げ、「なぜ間違えたのか、また、どうして間違えてしまったのか」ということを児童同士や教師と児童の対話を通して明らかにすることにより、児童の確実な理解へとつなげることができた。

三 本時の成果と課題

数直線を用いて数量の関係を捉える場面では、誤答を取り上げることで、基準量と比較量が明確になり、割合についての理解を深めることができた。継続的な振り返りにより、短時間で学びの成果や過程を記述できるようになったが、振り返りの内容を一層工夫する必要がある。



協力校
の実践

学校祭という場面を限定することで、
価値の主體的自覚を図る工夫

旭川市立北門中学校第一学年 特別の教科 道徳

読み物資料「人であふれた駐車場」を通して

「誠実」に生きることの大切さを理解する学習

授業者 吉田 曉弘

一 本時の目標

本時の目標を「仕事や係活動などにおける『誠実さ』について考え、誠実に仕事や係活動に取り組もうとする態度を育てる。」とした。主題に対する生徒の問題意識を高めたり、価値の主體的自覚を図ったりすることにより、本時の目標に迫りたいと考えた。

二 「主體的な学び」「対話的な学び」に関わる教師の手立て

【学習課題の提示】

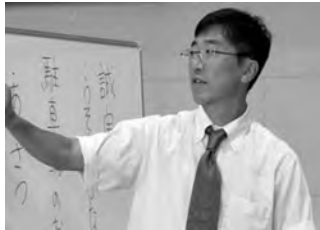
導入場面で主題に対する興味や関心を高めるために、「誠実」の意味を考えさせた。生徒に誠実な人について発言させると、「嘘をつかない人」「約束を守る人」「真面目な人」など、「誠実」の意味は様々であることが共有できた。そのことにより、「本時の資料における『誠実』とは、どのようなものなのか。」という問題意識を高め、学習への興味・関心を高める課題を設定することができた。

【論点の明確化】

本時で学習した「誠実」について、自分ごととして捉えることができるよう、学校祭という場面を設定した。具体的場面に限定したことで、誠実に係の仕事に取り組んでいた友達を想起し、「誠実」について、自分ごととして考えさせることができた。

三 本時の成果と課題

「価値の主體的自覚」の段階では、具体的場面を限定したことにより、多くの生徒が自分ごととして主題を捉えることができた。「価値への方向付け」の段階では、生徒の問題意識を更に高める発問の工夫が必要であった。



利用上のお願い

会場の利用にあたっては、右記の時間内での使用を守っていただくようお願いいたします。
また、当日の混雑状況によっては、当研修センターの駐車場に駐車できない場合があります。予め御承知おください。

貸室使用料（一般）

（教職員等、「承認団体」が研修等で利用する場合は、下記金額の半額）

室 名	午前（9～12時）	午後（13～17時）	夜間（18～21時）
講 堂	2,700円	3,020円	4,320円
講 堂 A・B	1,350円	1,510円	2,160円
研修室／会議室	1,080円	1,290円	1,830円
和 室	540円	640円	860円

☆冬期は暖房料，夏期は冷房料が加算されます。

（研修センター事務室にお問い合わせください。）

室 名	午前（9～12時）	午後（13～17時）	夜間（18～21時）
講 堂	1,080円	1,290円	1,620円
講 堂 A・B	540円	650円	810円
研修室／会議室	540円	640円	860円
和 室	320円	320円	320円

* 冷房料は講堂と第1研修室のみ

宿 泊 料

2,700円〔暖房料〕430円（1部屋）

* 研修講座受講者、「承認団体」等が行う研修に伴う宿泊者、小中学生は1,290円

発行日
責任者
印刷所

平成三十年三月一日
上川教育研修センター
〒077-0036
旭川市六条通四丁目
電話 〇一六六-二四二五〇一
奥山 ゆみ子
有限会社岡本印刷

※この用紙は再生紙（古紙70％）を使用しています。